

ビジョン2020とコーポレートメッセージ、コーポレートスローガンを新たに制定しました。

2014/3/1

アサヒファシリティズは「ビジョン2020」「コーポレートメッセージ」「コーポレートスローガン」を制定し、2014年3月1日から運用を開始いたしました。

「ビジョン2020」は、2020年に向けてアサヒファシリティズが“人が財産”という企業文化を大切にしながら、対応すべき社会的課題を捉え、高度な技術と豊かな心を基盤とした建物サービスを通じて課題を解決していくという姿勢及び方向性を定めたものです。このビジョンの実現に向けて、新たな領域への取り組みに挑戦し、時代に必要とされる技術とお客様視点に立ったホスピタリティにより、「次世代建物管理業」への変革を推進していきます。

■アサヒ ファシリティズ ビジョン2020

私たちアサヒ ファシリティズは、人が財産 の企業文化のもと、
エンジニアリング と ホスピタリティ を融合させた
建物サービスを通じ、サステナブル社会の発展に貢献します。

▼制定の背景

東日本大震災以降、建物管理業においては、スマートコミュニティのように「点から面」に広がるエネルギーの制御、機器の遠隔監視・操作などの新たな技術や、防災支援、災害時支援の高度化が求められています。こうした状況を受け、当社は、環境の変化やニーズを的確に捉えたサービスを展開し、事業を通して社会的課題を解決する姿勢及び方向性を「ビジョン2020」として示すことで、サステナブル社会の発展に貢献することを目指します。

▼2020年に向けた成長戦略

「次世代建物管理業への変革」をキーワードに、先端技術を取り入れ、エンジニアリングとホスピタリティが融合した独自のサービスで、新たな価値を提供します。そして、社会やお客様にとって最良のパートナーとなることで、持続的な成長を目指します。

アサヒファシリティズを端的に表現するメッセージとスローガン

● コーポレートメッセージ

企業としての使命、果たす役割

建物を育て 未来へつなぐ
—“建てる”から“育てる”時代へ—

建物には建築主をはじめ計画に携わった人々の様々な想いが込められています。サステナブル社会の実現に向けて、建物は“育てる”時代へと変わっていくなか、私たちは、変化する環境に適合させていくことによって、建物に込められた想いを育み、大切に未来へとつなげていく。持続可能な建物づくりを通じて社会に貢献していきたい。こんな気持ちを込めて、アサヒファシリティズが社会のために何ができるのかを言葉にしました。

● コーポレートスローガン

わたしたちが提供する価値<目指す提供価値>

ハートフル ♥ エンジニアリング

私たちが目指す“安全・安心・快適で魅力的な施設空間”を創造していくためには、エンジニアリング力だけでなく、人間味溢れるホスピタリティが必要だと考えています。私たちが診ているのは建物だけではありません。建物の機能を最適化する《エンジニアリング》と建物に心を宿す《ホスピタリティ》が融合したサービスで、お客さまを、建物に集う人々を笑顔にしたい——。このフレーズには、そんな思いを込めています。